

## 業界初の“締めすぎ”を低減する「フォームタイモード」を搭載 初心者でも熟練工と同じ施工を実現できる 型枠用インパクトドライバ『PJ-ID152FW-B2C/1850A』新発売

マックス株式会社(証券コード:6454)は、総合建材メーカーの岡部株式会社(証券コード:5959)と共同で開発した18V充電式型枠用インパクトドライバ『PJ-ID152FW-B2C/1850A』を9月25日より、全国の利器工具・金物店ルートを通じて販売します。

希望小売価格は72,800円(+税)です。

熟練の技術がないと難しい型枠施工を初心者でも同じようにできる業界初<sup>※1</sup>の“締めすぎ”を低減する「フォームタイモード」(PAT. P)を搭載し、人手不足の現場での作業効率を向上します。



PJ-ID152FW-B2C/1850A



### 【開発の背景】

型枠工事とは、鉄筋コンクリートで建物を建造する際にコンクリートを形作る「型枠パネル」を、現場で組み立て・解体する工事です。この組み立ての際に型枠パネルを固定する金物が「フォームタイ」<sup>※2</sup>(型枠外側を固定)、「セパレータ」(型枠内側を固定)です。

この「フォームタイ」「セパレータ」で型枠パネルを固定する作業には、一般的に充電式インパクトドライバが使用されていますが、この作業をインパクトドライバで行う場合、締め付け具合に慣れ・コツが必要で、従来、熟練工の経験に基づいて施工されていました。

近年、建設業の人手不足や熟練工の減少により、初心者や外国人技能実習生なども型枠工事を行うようになりましたが、締め付けの加減がわからず、インパクトドライバの締めすぎによるコンクリートの厚さ不足や表面の変形などの施工不良につながる場合があります。

この度発売する『PJ-ID152FW-B2C/1850A』は、業界初の“締めすぎ”を低減する「フォームタイモード」を搭載。フォームタイが着座し打撃が始まるとすぐに運転を自動停止して締めすぎを低減します。

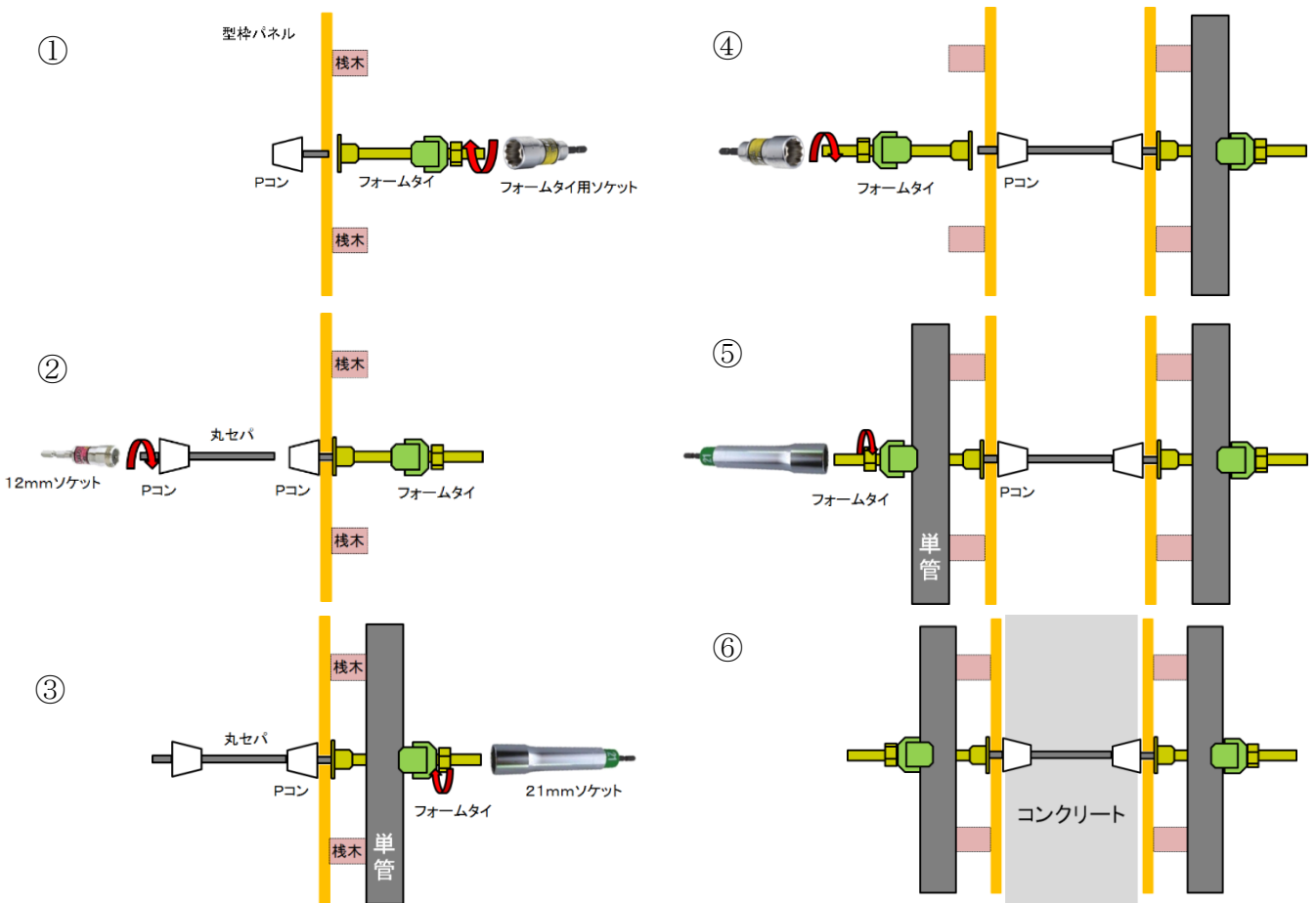
作業者の熟練度に関わらず誰でも同じ施工ができることで、作業効率を向上し、安定した品質を保つことができます。

※1 2018年9月現在 国内市場において マックス調べ

※2 「フォームタイ」は岡部株式会社の登録商標です。

**【型枠の作業工程】\* 施工手順の一例です**

- ① 型枠パネルを挟み、フォームタイ用ソケットで、Pコンにフォームタイを締め付ける。
- ② もう1つのPコンと丸セパを手組みしたものを、型枠パネルに取り付けたPコンに締め付ける。  
12mmソケットを使用。
- ③ 単管を棧木に当てがい、フォームタイのナットを締めることで、単管と型枠パネルを固定。  
21mmのロングソケット使用。
- ④ 次に反対側の型枠パネルを固定。  
同様に型枠パネルを挟んで、フォームタイ用ソケットでフォームタイをPコンに締め付ける。
- ⑤ 単管を型枠パネルに当てがい、21mmロングソケットで、フォームタイのナットを締める。  
単管と型枠パネルが固定され完成。
- ⑥ 両型枠パネルの内側にコンクリートを流し込むことで壁となる。



- ・フォームタイ … 単管で型枠パネルを固定する金具。
- ・丸セパ※<sup>3</sup> … 壁厚を決める鉄製の棒。施工によって長さを変える。
- ・Pコン※<sup>3</sup> … 丸セパの両端に取り付けるストッパ。仕上げ部に使用し、コンクリートが固まったあと取り外して再利用する。
- ・ソケット … ボルトやナットを締めるための先端アクセサリ。

※3 「丸セパ」「Pコン」は岡部株式会社の登録商標です。

## 【商品特長】

### ○型枠用に特化した業界初の“締めすぎ”を低減する「フォームタイモード」

フォームタイやPコンが着座し打撃が始まると、すぐに運転を自動停止して“締めすぎ”を低減します。

「フォームタイモード」では1充電で約3,000回の締め作業が可能です。

\*「フォームタイモード」は、フォームタイの取り付け、Pコンの締め付け、フォームタイの締め付けにご使用頂けますが、部材や環境にばらつきがあるため、施工品質を保証することはできません。必ず施工後に適正に締まっていることをご確認ください。



操作パネル画面

## 【商品仕様】

商品名	PJ-ID152FW-B2C/1850A
質量	1.4Kg(電池パック装着、フック無時)
寸法 (H×W×L)	ヘッド長 109mm 237×79×127mm(電池パック装着、フック無時)
モータ	ブラシレスDCモータ
無負荷回転数	フォームタイモード:0~2,800min-1(0~2,800回転/分) ノーマル(弱)モード:0~900min-1(0~900回転/分) ノーマル(強)モード:0~3,000min-1(0~3,000回転/分) リミット(1秒)モード:0~2,800min-1(0~2,800回転/分)
最大締めトルク	約165N・m(1,683kgf・cm) M14高力ボルト3秒締め付け時
電池パック	リチウムイオン電池パック JP-L91850A
電池電圧	18V
ビット挿入寸法	六角対辺寸法6.35mm 対角寸法7.1mm
打撃数	0~3,000min-1(0~3,000回/分)
能力	小ねじ:M4~M8、コーススレッドねじ:22~120mm 普通ボルト:M5~M14、高力ボルト:M5~M12
付属品	充電器(JC-925A)、電池パック(JP-L91850A)2個、 ビット(+No2×65mm)、ベルトフック、キャリングケース

《お客様からのお問い合わせ窓口》 0120-228-358

《本件に関するお問い合わせ先》 マックス株式会社

総務部 IR・広報セクション TEL.03-3669-8106

報道に関するお問い合わせは、[こちら](#)まで

※本リリースに記載されている内容は発表時点の情報です。内容が変更となる場合もございますので、あらかじめご了承ください。